

## 第49回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第49回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

### 結果のポイント

現況のDI値は、観光業と飲食業は回復しているが、農業は横ばい、建設業・製造業・卸売・小売業とサービス業については前回調査より悪化し、資材等の価格高騰により深刻な打撃を受けている。  
今後7月から9月にかけての見通しについては、新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行したこともあり、人の流れが回復することによる経済回復への期待がもてる。

### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

令和5年6月調査

	前回調査		調査数	今回調査		
	A 現況 (R5.3)	見通し (R5.4-6)		B 現況 (R5.6)	(B-A) 前回現況 との対比	見通し (R5.7-9)
総 合	-14	-7	87	-24	-10	-6
農 業	-22	0	9	-22	0	11
建設業	9	-45	11	-36	-45	-27
製造業	20	0	10	-10	-30	20
卸売・小売業	-32	0	21	-38	-6	0
観光業	-10	-10	10	0	10	0
飲食業	-10	30	5	0	10	20
サービス業	-23	-18	21	-29	-6	-29

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査方法 オンラインアンケート、FAX、電話等による調査
- 調査内容 (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答  
(2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。  
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。  
「DI」(Diffusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

武雄市営業部商工観光課

〒843-8639

武雄市武雄町大字昭和12番地10

TEL:0954-23-9237 FAX:0954-23-3861

E-MAIL: syoukoukankou@city.takeo.lg.jp